

教育委員会だより

令和8年2月25日号 多治見市教育委員会 教育総務課

くめざす子ども像
お互いを尊重し、
主体的に学び、
挑戦する多治見の子

将来の夢を育む ～多治見ふるさとしごと塾～

2月11日（水）に、教育研究所が主催する土曜学習講座「多治見ふるさとしごと塾」を実施しました。今回の企画は、多治見ロータリークラブ様との共催事業として、職業体験イベント「将来マナビジョンⅢ」と題して、セラミックパークMINOを会場に大規模な形で開催しました。

会場には、昨年を上回る多くの民間企業や市役所関係の体験ブースが40以上並び、約300人の児童と、多くの中高大学生ボランティアが参加しました。子どもたちは、自分で選んだ仕事を体験し、「仕事」をした「給料」として専用通貨『うながっぱ』を受け取ります。その専用通貨を使って他のブースでお菓子や飲み物を買ったり、ワークショップに参加したりして遊びや買い物を楽しみます（今風なブースとしてふるさと納税も登場！）。子どもたちは、手元の専用通貨の枚数確かめながら「消費」し、主体的に楽しみながら「働く生活」を送りました。

普段の生活では味わうことができない様々な職業に触れる体験を通して、イベントを楽しむだけでなく、働くということ、将来への夢や希望を抱くということにおいても有意義な時間を過ごすことができました。大盛況のうちに会を閉じましたが、来年度以降もさらに工夫し、多治見の将来を担う子どもたちの「夢」を育てていきます。



意義深い実践 ～市教育委員会『教育実践論文表彰』～

教育の基本的な課題を踏まえ、幼稚園、小・中学校の教育現場に密着した継続的・累積的な研究実践を顕彰しました。

【最優秀賞】管理職の部 南姫小学校 山口 政有 校長（学校経営）
一般の部 滝呂小学校 平賀 啓祐 教諭（保健体育科）
新人の部 北栄小学校 稲垣光太郎 教諭（保健体育科）

この他に、優秀賞6名、優良賞5名、佳作14名の先生方が受賞しました。

今年から新たに、管理職の部が新設され、学び続ける教師集団を目指す実践が発表されました。また、どの実践においても、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指し、目の前の子どもたちの実態をつかんだうえで授業づくりにつなげる実践となっていました。学校教育に対する願いや課題を明確に捉え、その解決に向けた道筋を自ら描き、日々の実践の中で試行錯誤を繰り返しながら子どもの姿に成果を求める。そして、自身を振り返るために書きまとめ、教師自身が学び続ける。この尊い歩みが評価され、この度受賞された学校・先生方にお祝いを申し上げるとともに、教育実践の益々の充実に大きく期待しています。



地域の役割を担い育つ～青少年まちづくり市民大会～

2月21日（土）、バロー文化ホールで『青少年まちづくり市民大会』が開催されました（主催：多治見市青少年まちづくり市民会議）。池田・市之倉・滝呂の3小学校区の実践発表に加え、多治見中学吹奏楽クラブの演奏が花を添えました。

ここ数年の実践発表を拝見して感じることは、大人主体の発表から、子ども主体の発表へと様変わりしていることです。そもそも、各地区の行事が子どもたち自身の手で企画・運営しているものが増え、子どもの主体性を大切にしており、それを大人が見守り育てるまちづくりへと変化しています。そして、小・中学生ボランティアへの積極的な参加には目覚ましいものがあります。今回も十数名の中学生スタッフがそれぞれに役割を担い、大会の運営に奔走していました。

大人の指示を待つことなく、役割を理解し自分で考えて行動する、地域の一員としての存在感を増しています。参加・協力から参画・貢献へと高まっていく姿は、本当に頼もしいです。今後は、このような素晴らしい地域の取組がより多くの方に知っていただけるよう、今大会に多くの来場者を増やすための周知方法を工夫していきたいと思います。

